

2020年の 課題図書より



におすすめの本

一部、図書館だよりと重なります。



夏休み 麻里布小図書館開館日（夏休み学習会の日です）

8月3日 4日 5日 10:30～11:30



1. 2年生に「おすすめの本」

	「ながーい5分みじかい5分」 リズ・ガートン・スキャンロン オードリー・ヴァーニック/オリヴィエ・タレック	
感想文		順番待ちの5分は長いけど、絶叫マシンの5分は一瞬。感じる時間の長さは、時計の時間と全然違う！ 5分は長い？ 短い？ 自分にとって、どんな時間が短くて、どんな時間が長いのか、家族で話してもおもしろいことうけあい。
	「まほうのさんぽみち」 ロビン・ショー	
感想画		パパと2人でおさんぽに出かけると、ふつうの道もふしぎな世界に見えてきます。みずたまりには、ワニ？ 花屋さんはジャングル？金物屋さんのドラム缶はうちゅうせん？最後にたどり着いた〈いちばんのおたのしみ〉とは…。コロナ禍の今でも、近くでいろんな発見をして、想像力をはたらかせたらイメージがふくらむかも。おさんぽはいかが？

3. 4年生に「おすすめの本」

	「ねこと王様」 ニック・シャラット	
感想文		最後ある日、ドラゴンのせいでおしろがもえてしまった王さまは、一番の友達のねこと町に引っ越して、小さな家に暮らすことになりました。王さまのしごとのほかには何もできなかった王さまが、少しずついろんなことができるようになります。
	「とんでいったふうせんは」 ジェシー・オリベロス	
感想画		おじいちゃんは、長く生きてきたから、もっともっとたくさんのふうせんを持っている。 ぼくは、おじいちゃんの思い出のふうせんの話聴くのが大好きだった。ある日、ふうせんがおじいちゃんの手をはなれてとんでいったのに、おじいちゃんはまったく気がつかない。

5. 6年生に「おすすめの本」

	「ヒロシマ 消えたかぞく」 指田 和	
感想文		父親は写真が趣味。家族の何気ない日常をカメラにおさめていました。子どもたちはいたずらや動物も大好き。でも、その幸せな日常は続きませんでした。これは、ある日消えてしまった6人の家族のお話。 ぜひ、家族の思い出の多い大人にこそ読んでほしい本。
	「ぼくと賢おじさんと山の学校」 村上淳子	
感想画		クラス対抗リレー大会を機に、学校に行けなくなり、引きこもっていた勇一。そんな時、賢おじさんと山の家に行くことになった。あたたかく迎え入れてくれた家族と山の学校、自然のきびしさやすばらしさ、山での生活が勇一を変えていく。